



DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Table Query ご紹介

目次

■ 製品概要

- DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Table Queryとは
- SAPアダプタ製品構成と連携イメージ

■ 製品構成と連携イメージ

- ERP Adapter for SAP Table Query 連携イメージ

■ 各種処理の設定

- 各種処理の設定イメージ
- 差分管理機能

■ ソリューション例

- 適用パターン例
- 各種 SAPアダプタ機能比較
- 各種 ERP Adapter for SAP 機能比較

製品概要

DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Table Queryとは

DataSpiderのスクリプト上で、SAPに対して既存のSAPクエリ、もしくはテーブルリストからデータ抽出処理を行うことができるアダプタです。

主な特徴

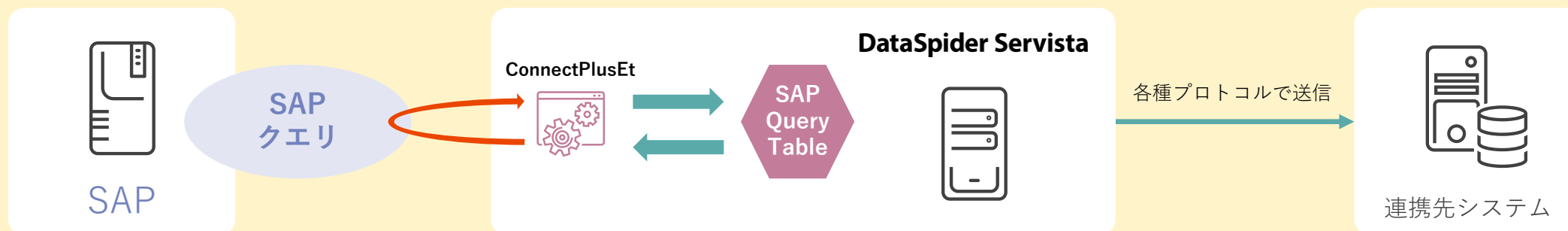
- ・ SAPテーブルにアクセスしデータを抽出する機能
- ・ SAPクエリによりSAPデータを抽出する機能
- ・ 大容量データのデータ抽出が可能
- ・ BI用DWH作成や、データ移行に適したアダプタ
- ・ 差分管理機能

SAPアダプタ製品構成と連携イメージ

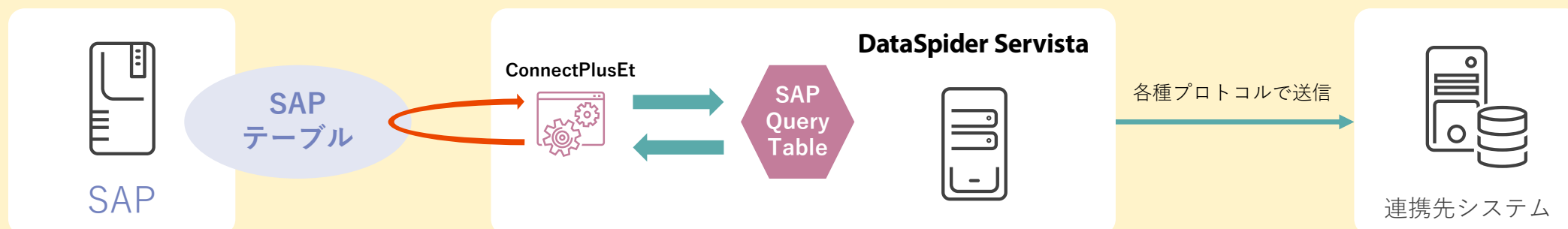
SAPクエリ・テーブル呼出機能

SAPシステム上のクエリまたはテーブルからSAPシステムのデータを取得します。

SAP クエリ呼出 （SAPからのクエリデータ取得）



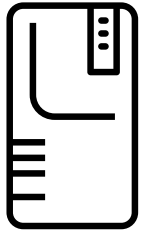
SAP テーブル参照 （SAPからのテーブルデータ取得）



製品構成と連携イメージ

ERP Adapter for SAP Table Query 連携イメージ

DataSpider



DataSpider Server

各種アダプタ

DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Table Query

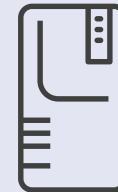
アダプタ



クエリ定義

- ・クエリリスト/テーブルリスト取得
- ・クエリの実行、結果データの取得

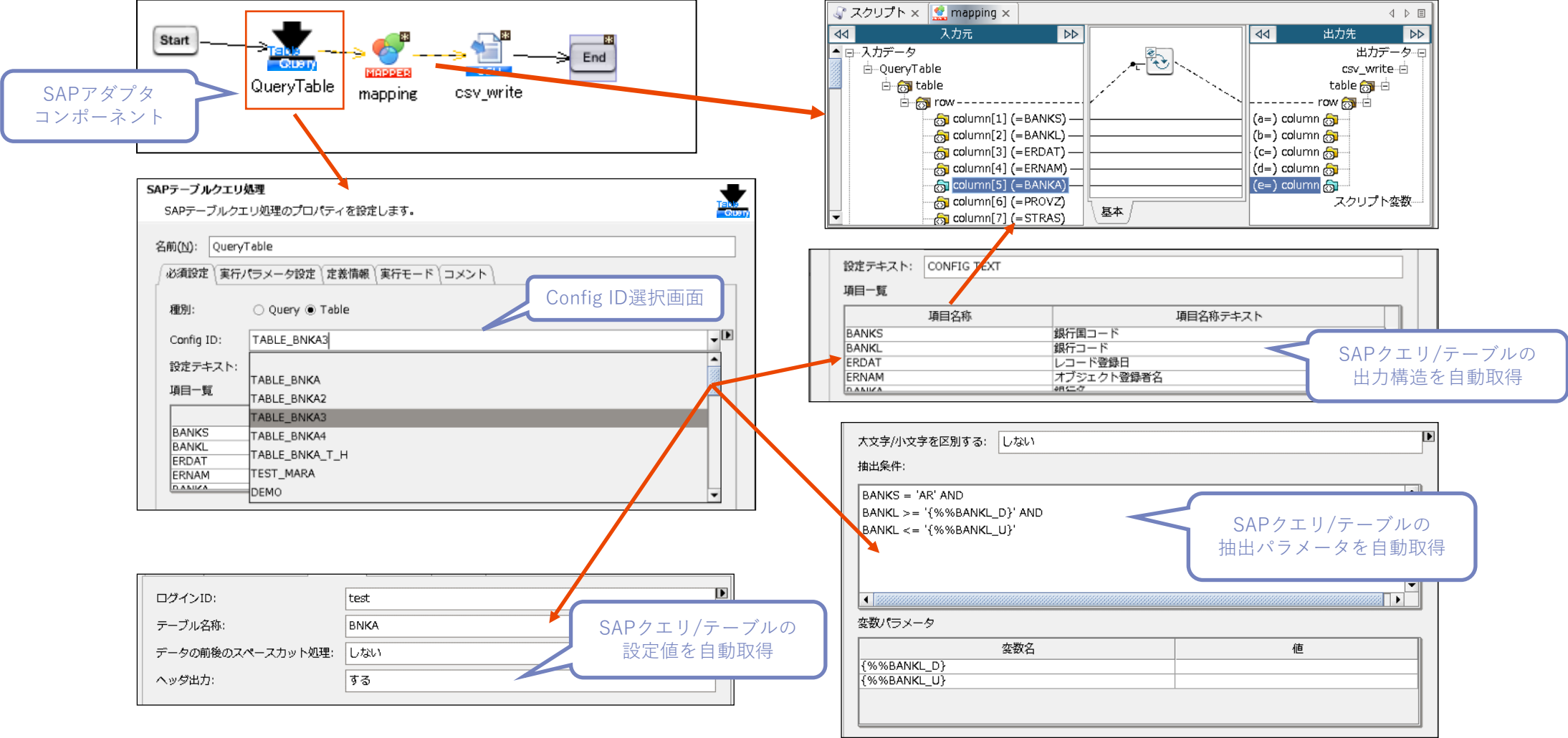
SAP



各種処理の設定

各種処理の設定イメージ

【SAPクエリ・テーブル呼出機能】別途コンフィグレーションツールの導入・設定が必要となります。※詳細については、マニュアル参照



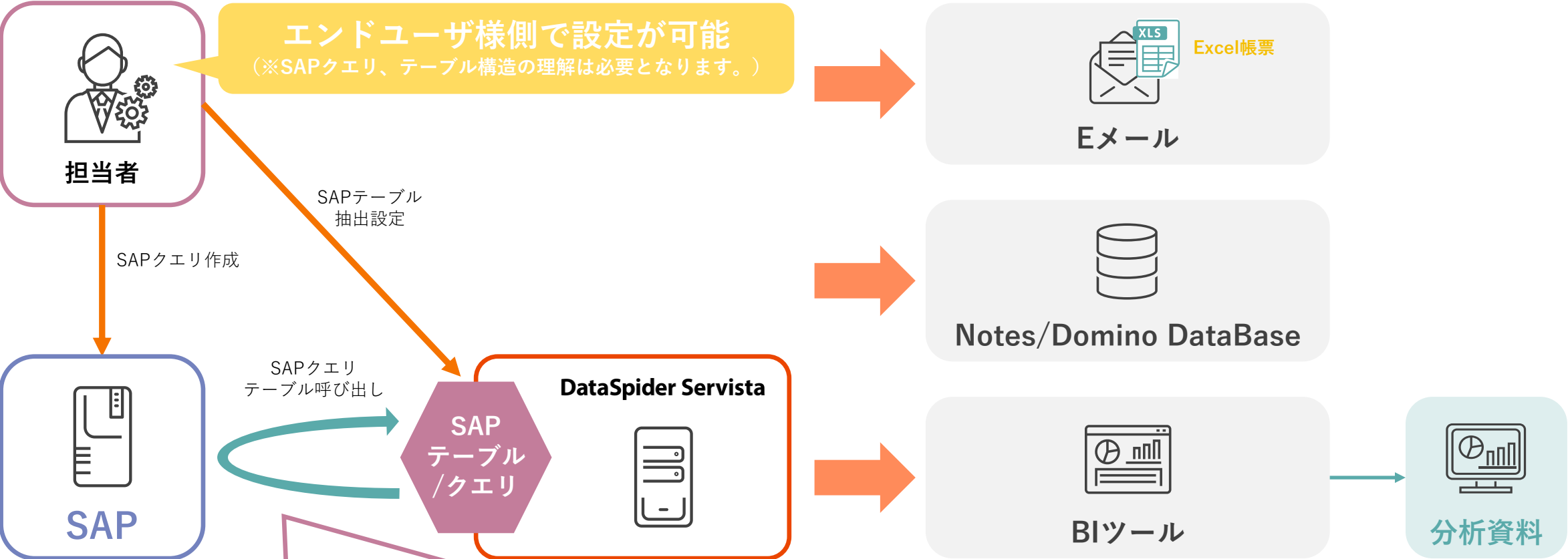
差分管理機能

差分管理機能を使用することで、登録日や変更日をキーにしてデータ検索を行うことが可能です。SAPシステムに日々更新される大量データの差分のみを抽出できるため、パフォーマンスの向上が見込まれます。

- 登録日、変更日を条件キーとした差分抽出
- シーケンス項目を条件キーとした差分抽出
- 変更文書（SAP標準機能）を条件キーとした差分抽出

ソリューション例

適用パターン例



BAPI/RFC呼出しよりも通信のオーバーヘッドが少ないため、より多くのデータ連携が可能。
→マスタ配信やBI連携に適している

各種 SAPアダプタ 機能比較

	SAPアダプタ	SAPテーブルクエリアダプタ	SAP BCアダプタ
インバウンド処理	可	—	可
アウトバウンド処理	可	—	可
トランザクション処理	可	—	可
TID管理	可	—	可
対応インターフェース	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て	(直接SAPのテーブル/ クエリからデータ抽出)	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て
大容量データ処理※1	不可	不可	可
サポートプラットフォーム	Windows / Linux	Windows / Linux※2	Windows / Linux
接続先SAPバージョン	SAPシステム SAP S/4HANA、SAP ERP 6.0(mySAP 2005) ※SAP ERP 5.0(mySAP 2004)には対応していません。	SAPシステム SAP S/4HANA、SAP ERP 6.0	SAP Business Connector 4.8 ※SAP Business Connectorのサポートプラットフォームについては、「SAP Note 1094412」を参照してください。
事前準備	ライブラリのインストールが必要	コンフィグレーションツールのインストールが必要 ライブラリのインストールが必要	Business Connectorサーバが必要
特長	リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ。グローバルリソースに対応。	大容量データのデータ抽出に適したアダプタ。	リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ。トランザクション処理が可能。

※1 大容量データ処理とは、DataSpiderが搭載している、大容量データを処理する際に必要な最低限のデータのみメモリに格納し、ほかのデータをファイルに保存することで、大容量のデータの処理を実現する機能です。

※2 Linux版は下記のOSをサポートします。環境設定については、「SAPテーブルクエリアダプタ セットアップガイド」を参照してください。

Red Hat Enterprise Linux Server 6.x (x64版)、Red Hat Enterprise Linux Server 7.x (x64版)、Red Hat Enterprise Linux Server 8.x (x64版)、CentOS7.x (x64版)、Oracle Linux 7.x (x64版)、Oracle Linux 8.x (x64版)

各種 ERP Adapter for SAP 機能比較

	DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Basic	DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Table Query
インバウンド処理	可	—
アウトバウンド処理	可	—
トランザクション処理	可	—
TID管理	可	—
対応インターフェース	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て	(直接SAPテーブル/クエリからデータ抽出)
大容量データ処理※1	不可	不可
サポートプラットフォーム	Windows / Linux※2	Windows / Linux※2
接続先SAPバージョン	SAP R/3 4.7、SAP ERP 6.0、SAP S/4 HANA	SAP R/3 4.7、SAP ERP 6.0、SAP S/4 HANA
事前準備	SAP Java Connector 3.x SAP Java IDoc Class Library 3.x Microsoft Runtime C++ ライブラリ (Windows環境への導入時のみ)	コンフィグレーションツールのインストールが必要
特長	リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ。 トランザクション処理が可能。	大容量データのデータ抽出に適したアダプタ。

※1 大容量データ処理とは、DataSpiderが搭載している、大容量データを処理する際に必要な最低限のデータのみメモリに格納し、ほかのデータをファイルに保存することで、大容量のデータの処理を実現する機能です。

※2 必要なソフトウェアおよびLinux版のサポート対象OSについては、「DataSpider ERP Adapter for SAP® インストール手順書」または「ConnectPlusEtセットアップ 事前準備」ドキュメントを参照してください。



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。